

国際社会からの作業療法士募集 Position Statement on
Recruiting Occupational Therapists from International Communities
revised 2014

はじめに

WFOT は、作業療法が国際的に認知された社会の健康と幸福に貢献する専門職であると主張する。

国際的な専門職市場における人材不足は、低収入国から高収入国への大勢の積極的な人材流入という結果をもたらした。長年に渡り、自国に留まる専門職が少ないことは、サービスが少ないとか、存在しないことになるといった脅威を創り出してきた。しかし、こうした移動が生む利益もあり、よりよい生活を追求すると、熟練技能をもつ職員を求める人の間の困難な緊張状態が形成されている。

この声明書は、人材という面で、専門職の人口が少ない地域から作業療法士を積極的に資源として得て、責任ある募集をサポートすることを目的とする。

WFOT のポジション

WFOT は、作業療法士が国際的に移動することが、専門職と人々、両方の幸福を進展させ、成長させ、維持するために必須であると主張する。WFOT は、作業療法士が別の国においても、自分たちの専門職の認識や実践に関わる権利があるという信念をサポートする。この権利を行使することを選択した作業療法士は、受け入れ国により決められた移民の基準や必要な制度を知り、それに合うようする必要がある¹。

多くの国々が、自分たちの国の作業療法士の調達を統治する基準を実行している。これには、専門職の持続性をサポートする目的があるが、他の国で認められたことを適用する個人の権利を侵害するものではない。

国際的に作業療法士を積極的に受け入れる国、組織、共同体、機関は、輩出国の地理的プロフィールを考慮し、理解し、解釈し、輩出国と受け入れ国の間に存在するかもしれない文化的差異に対して前もって対応する必要がある。

別の国で自分の技能を使って実践することを選択した作業療法士は、自分の技能、信念、能力と、受け入れ国により示されている要求を、観察し、尊重し、その基準に合わせる必要がある。作業療法士も国際的募集をする人も、人材不足があり作業療法の発展が継続している国に多くの作業療法士がいることに対する策を講ずる倫理を考える必要がある。

声明書の発展のための論拠

資格のある人材の数が多き国にとっても、少ない国にとっても、作業療法士の需要があることを、研究が示している²。別の国で自分の技能を使って実践することを選択した作業療法士の中には、かつてはその国で教育を受けた人もいることを、移住データが明らかにしている²。作業療法専門職が発達し続ける地域において、国際的に教育を受けた作業療法士の移住は、専門職の進化を促進するような教育、実践、研究の形成に計り知れないサポートを提供することができる³。

保健医療専門職の移住に関連するデータの多くは、看護と医療専門職に基本的には焦点を当てており、その他の保健医療従事者の移住に関しては、範囲はより狭いものとなっている^{4,5}。なぜ保健医療専門職が別の国への移住を選択するのかの理由は、個人的、社会的、経済的、政治的、環境的、制度上の力や要因があると引用されている⁵⁻⁹。

多くの国、組織、共同体、機関が、自分たちの住民の健康や社会的ケアのニーズに対応するための能力を発達させ維持するために、国際的に他の地域から、作業療法士を含む保健医療従事者を募集することを選択する^{6,7,9-11}。専門職人口が少ない地域の保健医療従事者の募集は、多くの政府が倫理的募集基準を実行することにしており、他国への保健医療従事者の移住を保護したり、統治したりすることを目的とした政策がある⁸⁻¹³。最近まで、こうした政府の基準や政策を知らせる作業療法専門職の人口統計学的データがほとんどなかった。

WFOT は、作業療法士の世界的な状況を示し、経験のある作業療法士の労働力が不足している国々を特定するための研究を発表した²。このデータは、地域の政策や方針の発達を知らせるもので、特に他の国からの作業療法士の募集を考慮する際に、このデータが使われる。

人材が少ない地域の専門職の成長を保護することと、他の国で自分の技能を使って実践することを認めて、これを行う個人の権利を維持することのバランスをとる必要性を認識しながら、WFOT は、国際的な位置から作業療法士を募集する時に、倫理的、道徳的考慮をする際の助けになるような声明を作成する。

<https://www.wfot.org/resources/recruiting-occupational-therapists-from-international-communities> (2019年11月22日 吉川ひろみ・訳)

作業療法士と国内協会のチャレンジ

- 1) 作業療法士の人口統計学的分布を広く知らせていくこと。これは、人材が少ないとされている地域から、国際的に教育された作業療法士の人材のための政府の方針を知らせることになる。
- 2) 他の国から、また他の国への作業療法士の移住や移民についての統計情報をもつこと。
- 3) 国内協会は、自国の作業療法士が、その国での作業療法士の定着をサポートするような継続的な教育機会や労働条件をもてるよう交渉、主張すべきである。
- 4) 国際的に教育を受けた作業療法士による健康ケアや社会的ケアのシステムへの特有の貢献のエビデンスをもつこと
- 5) 明確な期日までに、作業療法士の世界の人口統計学的情報に寄与するデータについての WFOT の要請に対応すること

WFOT のチャレンジ

- 1) 作業療法専門職の総合的な人口統計学的情報を維持する。
- 2) 会員組織から、より効果的な回答を促進するためのデータ収集方法を洗練する。
- 3) 作業療法関連領域における実践の倫理的募集を定義する。

結論

作業療法は、国際的に認識された専門職であり、住民の幸福に肯定的な影響を与える。国際的に教育を受けた作業療法士は、開発途上国でも先進国でも作業療法サービス提供に貢献する。

作業療法士は、別の国で自分の技能を使って実践することに応募する権利をもつ。

他の国で働くことを選択した作業療法士は、選んだ土地での基準、移民や文化的要請に応えるべきである。

他の国際的地域から作業療法士の人材を得ることを選択した国、組織、共同体、機関は、資源国の人口統計学的状況を考慮し、派遣国と受け入れ国との間に存在するかもしれない文化的違いについて必要なものを認識し、提供すべきである。

作業療法士人口が、その国での住民のニーズを充足しないような地域から作業療法士を調達するときには、WFOT は、責任のある募集が行われるために主張し、サポートする。

文献

1. World Federation of Occupational Therapists. 2007, Requirements for the Employment of Occupational Therapists in Member Countries of the World Federation of Occupational Therapists [online]. The World Federation of Occupational Therapists. Available from http://www.wfot.org/office_files/EmploymentRequirements2007.pdf [Accessed 24 August 2008]
2. World Federation of Occupational Therapists 2008. Occupational Therapy Human Resources Project. Available from the World Federation of Occupational Therapists
3. World Federation of Occupational Therapists. 2008. Introducing and developing the occupational therapy profession into countries where the profession does not yet exist or are not yet members of WFOT [DRAFT]. Available from the World Federation of Occupational Therapists URL TBC
4. Moran A. et al. 2005. "There's no place like home" A pilot study of perspectives of international health and social care professionals working in the UK [online]. Available from <http://www.anzhealthpolicy.com/content/pdf/1743-8462-2-25.pdf>. [Accessed 23 August 2008]
5. World Health Organisation. 2006. International migration of health personnel: a challenge for health systems in developing countries [online]. World Health Organisation Available from http://www.who.int/gb/ebwha/pdf_files/WHA59A59_18-en.pdf [Accessed 25 August 2008]
6. Stewart, J. et al 2007. Migration and Recruitment of Healthcare

<https://www.wfot.org/resources/recruiting-occupational-therapists-from-international-communities> (2019年11月22日 吉川ひろみ・訳)

- Professionals: Causes, Consequences and Policy Responses [online]. Germany: Hamburg Institute of International Economic (HWWI). Available from http://www.focus-migration.de/uploads/tx_wilpubdb/PB07_Health.pdf [Accessed 23 August 2008]
7. Bach, S. 2006. International Mobility of Health Professionals – Brain Drain or Brain Exchange? [online]. World Institute for Development Economics Research of the United Nations University (UNU-WIDER). Available from http://www.wider.unu.edu/publications/working-papers/research-papers/2006/en_GB/rp2006-82/_files/78091786133112658/default/rp2006-82.pdf [Accessed 23 August 2008]
 8. Pang, T. et al. 2002. Brain Drain and Health Professionals [online]. London: British Medical Journal. Available from <http://www.bmj.com/cgi/content/full/324/7336/499> [Accessed 23 August 2008]
 9. McIntosh, T. et al. 2007. The Ethical Recruitment of Internationally Educated Health Professionals: Lessons from Abroad and Options for Canada. [online] Canada: Canadian Policy Research Networks Inc. Available from http://www.cprn.org/documents/46781_en.pdf [Accessed 25 August 2008]
 10. Department of Health. 2004. Code of Practice for the International Recruitment of Healthcare Professionals. London: Department of Health.
 11. Scottish Executive 2006. Code of Practice for International Recruitment of Healthcare Professionals in Scotland [online]. Scotland: Scottish Executive. Available from <http://www.bda.org/about/docs/COfPrac%20for%20Int%20Recruit%20of%20Hcare%20Prof.pdf> [Accessed 23 August 2008]
 12. The Commonwealth. 2003. Commonwealth Code of Practice for the International Recruitment of Health Workers [online]. London: The Commonwealth. Available from http://www.thecommonwealth.org/shared_asp_files/uploadedfiles/%7B7BD970B-53AE-441D-81DB-1B64C37E992A%7D_CommonwealthCodeofPractice.pdf [Accessed 23 August 2008]
 13. The Commonwealth. 2003. Companion Document to the Commonwealth Code of Practice for the International Recruitment of Health Workers [online]. London: The Commonwealth. Available from http://www.thecommonwealth.org/shared_asp_files/uploadedfiles/%7B7F307830-1FA4-44A3-9EA5-9CC4055D7D4B%7D_CompanionDocument.pdf [Accessed 23 August 2008]

コンサルテーション準備:2008年8月

批准:2008年9月 改定:2014年